

**三菱UFJニコス、決済手段の多様化やセキュリティ強化に対応  
POSシステム導入加盟店向け“オールインワン”決済端末の取り扱いを開始！**  
～導入第一弾は「ノジマ」全172店舗、安全・安心・快適なキャッシュレスを後押し、2月12日から順次～

三菱UFJニコスはこの度、POS(販売時点情報管理)システム導入加盟店向けのクラウド型マルチ決済端末「Lane(レーン)/5000」の取り扱いを決め、導入第一弾として、株式会社ノジマ(本社:神奈川県横浜市、代表執行役社長:野島廣司、以下ノジマ)運営の家電専門店「ノジマ」全店(172店舗、2018年12月末時点)で2月12日から順次その取り扱いを開始します。

「Lane/5000」は仏国のIngenico(インジェニコ)が開発した、POSシステムと連動してキャッシュレス決済を提供するクラウド型マルチ決済端末です。昨今の決済手段の多様化や昨年6月の改正割賦販売法施行に伴うセキュリティ強化(※)などを背景に、加盟店での安全・安心で快適なPOS連動型決済端末の需要が一層高まっており、当社は今般、新端末の取り扱いを決めたものです。

(※)加盟店は2020年3月までに、クレジットカード情報の非保持化や端末IC化などへの対応を求められています。

新端末の特長は、1)複数の決済手段に1台で対応可能な「機能性」と、2)カードリーダー(磁気・IC/接触・非接触)やPIN(暗証番号)入力パッド、電子サインパネルなどの機器をコンパクトに一体化し利用者の使い勝手を高めた「操作性」、3)QRコード決済など新たな決済手段を簡易に追加できる「拡張性」で、まさに“オールインワン”の端末となっています。

これにより、加盟店は1台での多様な決済ニーズへの対応はもとより、煩雑なレジ回りの省スペース化や店員の端末操作の簡便化を実現できます。また、コンパクトながら来店客自身でも快適に操作できるディスプレイも備えており、セルフレジへの対応も可能となるものです。

なお、今回ノジマが新端末で取り扱いを開始するのは、クレジットカードをはじめ、ブランドデビットや銀聯カード、外貨建てカード決済(DCC決済)で、今秋より電子マネー(交通系IC、QUICPay、iD)にも対応する予定となっています。

当社は今後も、POS導入加盟店の多様な決済手段やセキュリティ強化へのニーズに対応し、安全・安心・快適なキャッシュレス決済の環境整備を推し進めていきたいと考えているものです。

以上

## <参考情報>

### ■Ingenico「Lane/5000」の概要

#### 1. 主な特長

- (1)機能性 : クレジットカード、ブランドデビット、銀聯カード、外貨建てカード決済(DCC決済)、各種電子マネー、NFC(非接触IC)、J-Debit(ジェイデビット)といった複数の決済手段への対応が可能。
- (2)操作性 : カードリーダー(磁気・IC/接触・非接触)やPIN(暗証番号)入力パッド、電子サインパネルなどの機器が一体化、端末本体のみの操作で決済が完結。
- (3)拡張性 : 新たな決済手段の追加、POSシステムとの連動、セルフレジへの対応が簡易に可能。

#### 2. 取り扱い決済メニュー

[2019年2月12日現在]

・クレジットカード(磁気/IC)、ブランドデビット、銀聯カード(磁気)、外貨建てカード決済(DCC決済)

[追加対応予定] ※1 2019年3月予定、※2 2019年5月予定、※3 2019年度中

・各種電子マネー: 交通系IC、QUICPay、iD、楽天Edy、WAON、nanaco) ※1

・NFC(非接触IC): Mastercard Contactless、Visa payWave、JCB Contactless、AMEX Contactless、Apple Pay ※1

・J-Debit(ジェイデビット) ※2

・銀聯カード(IC) ※3

・QRコード決済 ※3

\*「iD」は株式会社NTTドコモの商標です。

\*「QUICPay」は株式会社ジーシービーの登録商標です。

\*「楽天Edy(ラクテンエディ)」は、楽天グループのプリペイド型電子マネーサービスです。

\*「WAON」はイオン株式会社の登録商標です。

\*「nanaco」は株式会社セブン・カードサービスの登録商標です。

#### 3. 端末イメージ



### ■Ingenico Groupの概要

仏国・パリに本社を構えるカード決済端末販売数世界第1位の決済端末ベンダーです。グループ拠点を88カ国に置き、170カ国で事業を展開しています。世界で1,000以上の銀行やカード会社、加盟店開拓を行う事業者と接続し、グローバルに活躍している企業です。

以上